

ありがとう、ブラッドリー先生

宮之城町の英語指導助手として平成14年8月に赴任された、ブラッドリー先生が8月23日にアメリカに帰国されました。

先生には、宮之城中や山崎中での授業や英会話教室などで英語を教えていただきました。

また、いつも陽気で町の行事にも積極的に参加するブラッドリー先生は町の人気者でした。

先生のこれからの人生が幸多いものとなるように、町民みなでお祈りします。

今回、ブラッドリー先生が私たちにメッセージを残してくださいましたのでご紹介します。



ブラッドリー J ウィルソン

思い出をありがとう

2年前に私は初めて宮之城町に来ました。日本に来る前に、正直に言うところちょっと不安でした。初めての海外生活でしたので、上手く出来るかどうかよく分かりませんでした。そして、宮之城町に着いて・・・ショックでした！私の出身と違って、とても田舎の感じがしました（笑）。最初の頃、この町に楽しい事があるかと思って、する事を探し始めました。その時から私の経験が広がりました。

宮之城町に住んでいる間、色々な習い事をしました。町の子どもたちと一緒に習字をしました。あまり才能がなくて、最初は難しかったが、だんだんと慣れてきました。外山先生の優しい指導のお陰でちょっと書けるようになったと思います。和楽器の初体験ですが、宮之城町で三味線を習い始めました。ギターも弾けなくて、指先の痛みをまだまだ覚えています。民謡もよく知りませんでしたが、徐々に好きになりました。凄く分かりやすく指導して下さった坂口先生と一緒にいつか津軽三味線を弾きたいと思います。習字や三味線のほかにピアノ、水泳、バレーなどをしました。習い事が多くて、たまに疲れましたがとても楽しかったです。習い事の先生方にお礼を申し上げたいと思います。お疲れ様でした！



楽しかった宮之城中の遠足での写真



山崎中の生徒と記念撮影

宮之城町の小・中学校でも面白い事を見つけました。文化祭の職員劇場や中学生とのボランティア・サークル「For Others」の行事とかはとても良かったです。この2年間、宮之城町の生徒との交流は一生の思い出になります。外国人じゃなくて、人間として喋ったり、遊んでくれたりして、感謝しています。様々な性格を持つ生徒たちは必ず忘れることが出来ません。2年の間、みんなの成長を見て、ちょっと感動しました。無邪気な子どもから自立できる青年になるのは辛い時期ですが悩みがあっても、皆さん頑張ってください。

帰国するのはもちろん悲しいです。アメリカに帰ったら、大学院に入って、日本語学の教授を目指したいと思います。これからもっと日本について研究しますので、また日本に来るはずですよ。その時、お楽しみにしています。

日本にいた間、宮之城町は私の「古里」になりました。ここでたくさんの思い出が出来ましたので、去るのは絶対淋しくなります。でも、いつか里帰りしますので、その時も宜しくお願い致します。宮之城町の皆さん、2年間の付き合い、ありがとうございました！

See you again!